



村小だより

令和元年11月15日発行

多大なご支援と秋晴れに感謝して

校長 鈴木 正美

若干雪化粧した朝日連峰を臨んだ秋晴れの下、11月2日(土)、文化祭を開催いたしました。この期間、鮭シーズンの到来を知らせるため、4年生が木堀には鮭を泳がせ、グラウンドには鮭のぼりをあげています。この日も、嬉しそうに泳いでいるように見えました。

例年どおり大勢の皆様からご来校いただき、子どもたちの作品鑑賞はもちろん、PTAやおやじの会主催のイベントやミュージックコンサートへも参加・参観くださり、おかげで、どの会場も大盛況となりました。ありがとうございました。

今年も、昨年同様、三世代(子、親、祖父母)でお越しのご家族が多いなあと感じました。ご家族で作品や活動を参観して回り、子どもたちから、作品づくりの苦労話を聞いたり、労いや褒め言葉を掛けてくださったりする様子を垣間見て、とてもうれしい気持ちになりました。学校でも、「子どもたちは、称賛や励ましをエネルギーにして自分の力を高めていく。」と考えていますし、コミュニティスクール学校運営協議会委員の皆様からも、「村小の子は素直なので、できたことを褒めて伸ばして欲しい。」と、ご指摘をいただいているところです。

文化祭の開催にあたり、多くの皆様からご協力、ご支援を賜りました。感謝申し上げます。

<文化祭での校長講話(抜粋)>

(前略) みなさんが、心を込めて作った絵や工作などの作品やミュージックコンサートの発表を、村小の子どもたちや先生方はもちろん、家族や卒業生、地域のみなさん、お世話になった先生方など、多くの方々に見てもらっています。みなさん、とても楽しみにしてくださっています。また、お父さん、お母さん方が、美味しいものを販売したり、みんなが楽しめる催しを行ったりしてくれます。楽しみです。ありがとうございます。

昨日の夕方、私は各教室を回って、みなさんの作品を見せてもらいました。自分が表したいものや作りたいものを、一生懸命考えて、いろいろ工夫して、立派に作り上げた作品がいっぱいありました。それを見て、一人一人の思い描いたことが、すごく伝わってきました。「うまく表したなあ。色遣いがきれいだな。根気よく仕上げたなあ。」など、ここでもみなさんの「本気」や「真剣さ」がたくさん感じられて、とてもうれしくなりました。世界で一つしかない作品づくり、よくがんばったと思います。

みなさんも、この後、友達作品をよく見て、お互いがんばったところやよい所を教え合ってください。そのとき、一つ上の学年や一つ下の学年の作品をよく見ると、来年はこんな作品に挑戦するのかと楽しみになったり、去年は自分たちもこんな作品を作ったなあ、懐かしがったりできるのではないのでしょうか。また、お家の人と回る人もいますか。自分ががんばったことや上手にできたところ、中には失敗しちゃったことなど、でき上がるまでの話をお家の人にたくさんしてあげてください。きっと喜んで聞いてくれると思います。

最後になりますが、今日の文化祭のために、昨日、5、6年生のみなさんが残って、一生懸命に掃除や飾り付けの仕事を手伝ってくれました。お陰で短い時間できれいに準備が整いました。とても助かりました。ありがとうございました。

では、わくわくどきどきな、文化祭が間もなく始まります。多くの人たちの力で今日の文化祭ができることに感謝しながら、みんなでルールやマナーを守り、楽しい一日にしましょう。